



ドクターTのひとりごと その58

日本の医療環境の変遷 その2

1976年頃から大学病院で診療科の細分化が始まるものの、私が大学病院から地方の関連病院に派遣された時には幅広い領域の診療を任された。内科医は主たる専門領域を持ちながら、広く内科疾患、時には小児科、さらに軽度の外傷処置も行っていった。外科医も主たる専門領域を持ちながら、広く外科系疾患を診療し、また、外科系医師は互いに協力し麻酔をかけ、手術が行われていた。このような診療実態は患者側にも許容されていた。患者の中には複数の疾患を有し、医師として患者を診るという責任感と患者から信頼されている満足感があった。しかし、現在では専門性が重視され、患者というより病気を診る時代となり、患者からの信頼感が薄いと考える。あなたの主治医はと尋ねても、「心臓は誰、胃腸は誰、呼吸器は誰」と答える状況は、医師や患者にとって望ましいことなのだろうか。専門性重視の診療はさまざまな専門医を必要とし絶対的医師不足が惹起されるが、医師不足の進展に拍車をかけたのは2004年から始まった新卒後臨床研修制度である。この制度が始まる前は、大学病院医局制度の下で若手医師の研修が行われていた。大学病院によって実状が異なることは理解する中で、この医局制度は専門性を高めながら幅広い領域の医療を研修し、過疎地にも医師を派遣することが可能であった。新卒後臨床研修制度の開始で医師不足が深刻となり、まさに、この時期に舞鶴市の医療問題が顕在化した。

《次号に続く》



図書館だより

今月のおすすめ本

サツマイモの世界 世界のサツマイモ -新たな食文化のはじまり-

山川 理

やせた土地でも栽培できるため、戦中・戦後に活躍したサツマイモ。今や世界各国で健康食品として研究が進んで

いるそうです。品種改良などに長く携わる著者が、その歴史や広がる用途、世界の動向などを解説した、目からうろこのサツマイモの本です。(東)



泳ぐイノシシの時代

高橋春成

近年、市街地でも被害が目立っているイノシシは、山の動物というイメージがあります。琵琶湖や瀬戸内海、九州の海では泳ぐ姿が目撃され、周辺の島に渡って農産物に被害を及ぼしています。本書は実態調査から、イノシシの泳力や泳ぐ理由、その対処法までを探っています。(西)



▶詳しくは、東図書館 (☎62・0190)
西図書館 (☎75・5406) へ。



国際交流員 李芳 中日文化の相違点

あいさつの言葉

皆さん、こんにちは。中国・大連市から来た李芳(りほう)です。日本人が中国人と話しをするとき、文化習慣の違いから、相手の言動が理解できず、誤解を招いたりすることがよくあります。両者が、うまくコミュニケーションを取るためには、相手の文化を知っておくことが重要です。このコーナーを通じて、中日文化の相違点について紹介していきたいと思います。今回のテーマはあいさつです。

中国語を習ったことのない人でも知っているあいさつの言葉、「你好」は、朝、昼、夜を問わず使える便利なあいさつです。もちろん中国語にも朝や夜のみを使う言葉はあります。朝は「早上好」、夜は「晚上好」と言いますが、主に、改まった席で使われます。また、「你好」より丁寧な表現として、「您好」というあいさつもあります。もう少し親しくなると、「你好」の代わりに「吃饭了吗？(ご飯食べた?)」とか、「最近忙不忙？(最近忙しい?)」、「身体好不好？(元気?)」などといったあいさつが使われます。ちなみに、日本ではあいさつするときお辞儀をしますが、中国では握手をするのが一般的です。



《みなと振興・国際交流課》



有料動画サイトなどの未納料金の回収詐欺にご注意を

くらしの豆知識

携帯電話やパソコンに「有料動画の未納が発生しております。本日に連絡なき場合、法的手続きへ移行させていただきます」などといったメールが届いたことはありますか？

不安になり、メールに記載されていた番号に電話をしたら、「有料動画サイトの利用料金の未納があり、サイト運営業者から未納料金の回収を依頼されています。支払いがなければ法的手続きをとらなければなりません」などと金銭を要求されたという相談が、全国各地の消費生活センターなどに寄せられています。

「株式会社日本債権」「TSB債権回収」「CIC債権回収センター」など、あたかも実在しそうな名前を使い、法的手続きをとると言って不安にさせ、連絡してきた人からお金をだましとる手口が多数確認されています。

このような身に覚えのないメールが届いた場合、絶対に連絡せず、舞鶴市消費生活センター(☎66・1006)か局番なし188番へ相談を。《消費生活センター》



あなたの笑顔のために - 舞鶴市民病院 理念 -

『ボツリヌス治療』に取り組んでいます

舞鶴市民病院では、昨年7月からボツリヌス治療を実施しており、治療を受けた患者の皆さんからも喜びの声をいただいています。

【ボツリヌス治療とは】

脳卒中などの後遺症の1つである手足の麻痺とともに現れることが多い筋肉のつっぱり(痙縮)に対する治療法です。

ボツリヌス菌が作り出す天然のたんぱく質を筋肉内に注射し、筋肉に命令を出す神経に作用させることで、筋肉の緊張を和らげることができます。この効果を利用して集中的にリハビリを行い、手足を動かしやすくすることで日常生活の質の向上を目指します。

また、この治療費には保険が適用されます(福祉医療・高額療養制度も利用可能)。

なお、この治療は2週間程度の入院をし、集中的にリハビリを行うと効果的です。

【治療対象症状】

- ◇手首・手の平が固まる…手が洗えない
- ◇ひじが曲がる…着がえがしにくい
- ◇足先が足の裏の方に曲がる…歩きにくい



【治療後の患者の皆さんやご家族からの声】

※効果には個人差があります

- ◇曲がっていたひじが伸び、着替えがしやすくなった。
 - ◇固く握っていた手が柔らかくなり、手が開くようになった。
 - ◇筋肉のピクツキや痛みがなくなった。
 - ◇床に足裏がしっかりつき、装具なしでも自宅内を歩けるようになった。
 - ◇足の関節の緊張がとれて歩きやすくなった。 など
- ▶詳しくは、舞鶴市民病院 地域医療連携室 (☎60・9022) へ。



今回のテーマは朝食です。舞鶴市の20～30代で朝食を毎日食べているのは約7割です。朝食を食べることで健康につながります。市内でとれた新玉ネギやインゲンが出回り始めていますので、朝食スープにいかがですか。レシピの野菜だけでなく、好きな野菜、旬の野菜使ってみましょう。

【協力】はまなす会(市食生活改善推進員協議会)

材料(4人分)

- ◇ジャガ芋…1個
- ◇玉ネギ…1/4個
- ◇キャベツ…80g
- ◇サイインゲン…6本
- ◇ウインナー…2本
- ◇塩…ひとつまみ
- ◇こしょう…少々
- ◇コンソメ…固形1個
- ◇水…400cc

一言メモ

朝食は体を温め、昼間の活動をやすくする効果があり、新陳代謝が良くなるのでダイエットの強い味方にもなってくれますよ。

ココロ野菜スープ



1人あたり68kcal 塩分0.8g

作り方

- ①ジャガ芋、玉ネギ、キャベツは角切り、サヤインゲンは斜め切りにする。ウインナーも食べやすいよう切っておく。
- ②鍋に水400ccとジャガ芋、玉ネギ、キャベツ、ウインナーを入れ、火にかける。
- ③野菜が柔らかくなれば、インゲンとコンソメを加え、塩、こしょうで味を整え、器によせば完成。